

トキ 野生復帰にむけて

92



第6回 トキ放鳥

6月8日(金)から、佐渡トキ保護センター野生復帰ステーションの順化ケージにおいて、オス10羽、メス3羽のトキが放鳥されました。今回も、ケージの出口を開放してトキが直接出て行く方法で行い、初日に11羽、2日目に1羽、3日目に1羽の合計13羽が飛び立っていきましました。

放鳥後のモニタリングでは、放鳥されたトキ同士で飛んだり木に止まったりする姿が確認されていますが、これから徐々に他の野生トキと合流し群れを形成していくことが予想されます。

トキ目撃情報をお寄せください

順化ケージから飛翔したトキは、モニタリングチームが追跡・確認・調査を行っています。放鳥直後は普段トキが見られない場所で行動することもあり、トキを見かけたなら佐渡市トキ交流会館(フリーダイヤル0120-9801-551)へお気軽に情報をお寄せください。市民の皆



(写真提供:環境省)

さまからいた、いただいた情報が重要なデータとなりますので、ご協力をお願いします。

■トキの個体数(6月12日現在)

○飼育

【佐渡トキ保護センター】108羽
+ひな15羽

【野生復帰ステーション】16羽+ひな12羽

【多摩動物公園】9羽+ひな4羽
【いしかわ動物園】8羽+ひな5羽

【出雲市トキ分散飼育センター】4羽+ひな4羽

【長岡市トキ分散飼育センター】4羽+ひな9羽

【飼育全体】149羽+ひな49羽
計198羽

○放鳥

【佐渡島内】57羽+ひな8羽=65羽

【新潟県外】1羽

【行方不明(半年以上未確認)】2羽
(放鳥全体)60羽+ひな8羽=68羽

◆市役所農林水産課生物多様性推進室
トキ政策係(トキ交流会館内)

☎24-6040

生活情報 さど

「生鮮食品の送りつけ商法」

「あやしい」と思ったら、契約前に消費生活センターへ

消費者が注文をしていないのに、一方的に送りつけ、代金を払わせる商法です。「代金引換」を悪用したものが、主な商品としては、魚介類・書籍・健康食品などが多いです。

【具体例】

・電話帳を見て電話をしてくる。親しげに長話をして、断りづらい雰囲気。

・「会社設立30周年記念」「過去に購入してもらったお礼」と、昆虫等を無料で送ってくる。

・「いらぬ」と断っても送りつけ、その際に魚・貝などの高価な詰め合わせを同封し、その支払いを強要する。

・電話では業者の会社名も電話番号もわからず、商品が届くまで断ることが出来ない。

・高齢で毎日の買い物に不便を感じている人は、自宅に送ってもらえるため、親切な業者だと思いがちでしまう。

【アドバイス】

○長話をせず、すぐに電話を切る。

○荷物が届いたら、送り状にある業者の会社名・電話番号・住所を書き写す(クーリングオフに必要なため)。

○受取を拒否する場合は、宅配業者に代金引換のお金を払わず、そのまま持ち帰ってもらう。(代金を払う必要はありません)。



クーリングオフの方法は、消費生活センターまでお問い合わせください。

お問い合わせ

市役所総務課 市民相談室 消費生活センター係(佐和田行政サービスセンター内)佐渡市立消費生活センター

(平日)午前9時~午後4時
☎57-8143